

お願い：支配人・マネージャーにお渡しください。

2022年11月7日

公益社団法人日本テニス事業協会
会員各位



公益社団法人日本テニス事業協会
会長 大久保清一
マネージャー部会
部会長 市辺 拓也

**公益社団法人日本テニス事業協会 マネージャー部会主催
第6回「マネージャーの資質向上を目指す研究会」のご案内
～社長が求める支配人・マネージャー像～**

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素から本協会へは種々ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度のマネージャー部会は年間を通して、「社長が求める支配人・マネージャー像」というテーマのもと、テニス事業経営者をお招きしてお話しを伺い、ご参加いただく支配人・マネージャー、もしくはそれに準ずる方の資質向上を目指してまいります。

今回は、株式会社ITC 代表取締役社長 諏澤 誠治氏（兵庫）と株式会社テニスラウンジ 代表取締役社長 戸谷 晋也氏（愛知）をお迎えし、「ご自身が求める支配人・マネージャー像」を中心に、自社経営の強みやテニス業界が抱える課題と今後の展望についてお話しいたします。

諏澤社長は学生時代から選手として活躍し、テニスコーチ、マネージャー、独立を経て、「ITCブランド」を確立させた今日までの経験をもとに「裸一貫で起業し、テニス事業一筋！」の題の元、成功させるために必要なもの、成功の秘訣を講演していただきます。

戸谷社長はサラリーマンを退職した後、一代で全国50校以上のテニススクールの立ち上げを行った経験の中で得た、何百人もの社員の中から支配人、マネージャーになる人の特徴や求めることについてご講演をいただきます。

また、講演後にディスカッションの場を用意しておりますので、参加者の皆様の気づきの場、成長の場となると幸いです。今回はリアル開催となります。皆様方の多数のご参加を心よりお待ちしております。

末筆になりますが貴社の益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬 具

記

■日 時：2022年12月13日（火） 13：00～16：00

■開催場所：公益社団法人日本テニス事業協会 会議室
東京都新宿区西新宿1-8-3小田急明治安田生命ビル地下1階

■講 師：諏澤 誠治氏（株式会社ITC 代表取締役社長）
戸谷 晋也氏（株式会社テニスラウンジ 代表取締役社長）

■参加費用：加盟会員 4,400円（税込） 非加盟 8,800円（税込）
非加盟(JPTA) 6,600円（税込）

■対 象：支配人・マネージャー・もしくはそれに準ずる方

■定 員：先着20名（定員になり次第締切）

■申込締切：2022年12月6日(火) ※定員になり次第締め切らせていただきます。

■申 込 先：公益社団法人日本テニス事業協会 事務局 (FAX 03-3343-2047)

■申込方法：所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、上記へFAXにてご送付ください。
(お申し込み後、受付確認票をFAXにてお送りいたします。)
なお、参加費用は締切日までに下記口座にお振り込みをお願いいたします。

【振込先口座】

銀行名：三菱UFJ銀行 新宿中央支店
口座番号：普通口座 No. 5448938
口座名：公益社団法人日本テニス事業協会 研修会事務局

■キャンセル料：2営業日前18:00から1営業日前18:00まで50%、以降より当日は100%のキャンセル料金を頂戴いたします。(土日祝は休業です)
※返金手数料は参加者負担とします

■本研究会はテニスプロデューサー資格更新要件の対象となる研究会です。有資格者は登録番号をご記入ください。(公社)日本プロテニス協会資格者の方は本研究会において(公社)日本プロテニス協会の研修ポイントを2ポイント取得できますので、登録番号をご記入ください。

.....
■2022年12月13日(火) スケジュール予定

時 間	内 容
12:30～	受付 公益社団法人日本テニス事業協会 会議室
13:00～13:05	開会挨拶 会長より 部会長より
13:05～13:55	講 師：諏澤 誠治氏 (株式会社ITC 代表取締役社長)
13:55～14:05	質疑応答／休憩
14:05～14:55	講 師：戸谷 晋也氏 (株式会社テニスラウンジ 代表取締役社長)
14:55～15:05	質疑応答／休憩
15:05～15:50	グループディスカッション、発表
15:50～16:00	まとめ及び閉会挨拶

SUSAWA SEIJI

諏澤 誠治

株式会社SDC ホールディングス 代表取締役会長
株式会社ITC 代表取締役社長

| プロフィール

学生時代は軟式テニスに明けくれる日々を送る。
選手として、インターハイや国体の舞台で活躍。

1976年に大学を卒業後、事業家をめざしロンドンへ留学を決意。
異国の厳しい環境で、時には公園でサンドイッチを売って生計を立てることも。
勉強の息抜きに、天性の勝負師精神を垣間見せ、"ギャンブラー"としての覚醒を
予感させつつも、起業の準備に向けて、留学生生活を終える。

帰国後まず貿易会社に入社。一から実業を学ぶ日々が続く。
そんなある日、運動不足を解消するために、ふと数年ぶりにラケットを手にする。

それは、まるで天の啓示のように、忘れていたテニス熱が、この時から燃え上がる。
「プロテニスプレーヤーに俺はなる！」と一念発起し、運命の歯車が回転を始める。
働きながらテニスができる環境を求め、26才当時のテニス用品大手メーカーへ、
あっさり転職を果たしてしまう。

マネジメント業務もほどほどに、プロデビューを目指し、試合練習に明け暮れる
毎日。ある時職務上のささいな巡り合わせから、人生で始めてテニスコーチ業
務に携わる。

プロを目指す道の途中。必ずしも本意ではない形ながら、マネージャーやクラブ
支配人としての役割をこなす中で、徐々に持ち前の起業家精神を呼び戻す。

独立した自身のクラブ経営を構想に入れながら、飛び込み営業で会員獲得成
績を飛躍的に上昇させ、実績を重ねる。

空前のテニスブームを背景に、着実にビジネスの経験を積んでいく。
その後 1990年、バブル崩壊の甚大な影響から事業を守るべく、38才で独立
を決断。

「ITC」のブランド名称を新たに、決して忘れることのできない阪神淡路大震災
の苦難と、激動の時代を乗り越え、今日に至る。



1951年生 / 兵庫県出身
学業では獣医学を志し、動物を
愛する一面を持つ



SPORTS
DEVELOPMENT
COOPERATION
HOLDINGS

TOYA SHINYA

戸谷晋也

株式会社テニスラウンジ代表取締役社長

プロフィール

テニスとの出会いは大学時代、テニスなら「今から始めてもプロになれる」、と中央大学テニス部の門を叩く。しかし、当時のスーパースター福井烈氏のプレーを身近で感じ、挫折。

その後テニスコーチのアルバイトを通じこの仕事の楽しさを知るようになる。

一旦は某上場企業に勤めるも、やはりテニスコーチのやりがいを忘れられず、テニススクールに就職。

その後、紆余曲折ありながら、一代で50店舗以上のテニススクール「テニスラウンジ」を創設することとなる。

講義のテーマ

- ・ 支配人になる人の特徴
- ・ 与えすぎないことの大切さ



